

弘大COIの研究活動

国の2白書に掲載

弘前大学健康未来イノベーション研究機構（村下公一機構長）が、文部科学省などによる研究支援事業「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT II 以下COIネクスト）」の拠点として取り組む研究活動が、2023年度版の国の「高齢社会白書」と「科学技術・イノベーション白書」に掲載された。村下機構長は「二つの白書に同時に掲載されたことは非常に画期的、かつ喜ばしいこと。白書への掲載を励みに、今後市民の皆さんと短命桌返上へ向けて、力強く進めていきたい」と喜びを語った。

高齢社会白書は、政府が

国会に提出している年次報告書で、高齢化の状況や政府が講じた高齢社会対策の実施状況、高齢化の状況を考慮して講じようとする施策について示したもの。科学技術・イノベーション白書は、政府が科学技術・イノベーション創出の振興に関して講じた施策を報告するもの。いずれも20日に閣議決定され、公表された。

弘大COIネクストは、前身である弘大COIが取り組んできた大規模な追跡調査である「岩木健康増進プロジェクト」を軸とし、約20年間にわたり研究活動を継続。高齢社会白書では、同プロジェクトが高齢

者の健康を巡る動向についての事例として紹介された。

科学技術・イノベーション白書では、地域の特性や大学の強みを生かして革新的な技術開発に成功し、地方公共団体や産業界などとも連携して、地域に貢献している事例として掲載された。
（石田紅子）